

事業名	近畿自動車道 敦賀線 おばまし つるが 小浜西～敦賀JCT		事業区分	高速自動車国道	事業主体	中日本高速道路(株) 西日本高速道路(株)
起終点	自) 福井県小浜市岡津 至) 福井県敦賀市高野			延長	50 km	
事業概要						
近畿自動車道敦賀線は京阪神地方と丹波・若狭地方を連絡することにより、その沿線の産業・経済・文化・観光等の発展及び振興に資する路線である。						
H11年度事業化		H8年度 都市計画決定		H15年度用地着手		H16年度工事着手
全体事業費		2,773億円		事業進捗率		29% 供用済延長 0 km
計画交通量		3,700台/日 ~ 7,800台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.5		総費用 (残事業)/(事業全体)	3,957/3,957億円	
	(残事業)	2.0		1,959/2,626億円 事業費：1,752/2,419億円 維持管理費：207/207億円	基準年 平成20年	
				総便益 (残事業)/(事業全体)		
				3,957/3,957億円 走行時間短縮便益：3,582/3,582億円 走行費用減少便益：284/284億円 交通事故減少便益：90/90億円		
感度分析の結果				残事業について感度分析を実施		
交通量変動		B/C=2.2 (交通量 +10%)		B/C=1.8 (交通量 -10%)		
事業費変動		B/C=1.8 (事業費 +10%)		B/C=2.2 (事業費 -10%)		
事業期間変動		B/C=2.1 (事業期間 -1年)		B/C=1.9 (事業期間 +1年)		
事業の効果等						
緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる						
						他11項目に該当
緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の:						
本路線は、日本海国土軸の一翼を担い、北近畿における大環状ネットワークを形成するとともに、災害時等における東西方向の代替迂回道路、緊急避難道路として国策上重要であるだけでなく、福井県の発展にとって極めて重要であることから、福井県知事を会長とする敦賀舞鶴間道路整備促進期成同盟会より整備促進の要望(平成20年7月10日)を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
阪神大震災の経験から、災害時の代替ルートの必要性が再認識された。新たな救命救急センターが設立した。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
現在、工事中。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
今後も引き続き工事の進捗を図る予定。						
施設の構造や工法の変更等						
新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。						
対応方針		事業継続				
対応方針決定の理由						
以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図						
<div style="text-align: center;"> <p>近畿自動車道 敦賀線 小浜西～敦賀JCT</p> </div>						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。